

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                         |      |             |
|----------------|-------------------------|------|-------------|
| ○事業所名          | 半田市児童発達支援センター 半田市立つくし学園 |      |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年1月13日               |      | ～ 令和8年2月6日  |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 13名  | (回答者数) 11名  |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年1月13日               |      | ～ 令和8年2月6日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 2名   | (回答者数) 2名   |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和8年1月13日               |      | ～ 令和8年2月6日  |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)                  | 11施設 | (回答者数) 11施設 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月12日               |      |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等                       | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|---|---|---|
| 1 | 児童発達支援センターの中核機能を備える中で、作業療法士、理学療法士、心理師、相談支援専門員などの専門職と連携する機会も多く、多角的な視点での支援を提供することができる。                            | 専門性のある意見を取り入れ、より良い支援となるよう心がけている。            | 情報共有を密に行い、必要な支援をセンターとして検討していきます。              |
| 2 | 児童発達支援センターとして、地域の発達支援・家族支援機能を高める目的で、地域講演会や支援者向け研修会を主催しているため、継続的に専門性を高めることが出来る。児童発達支援だけでなく、保育所等訪問支援にも活用することができる。 | 研修で学ぶ中で、保育所等訪問支援に繋がる内容を吸収し、支援に取り入れるようにしている。 | 現場で役立つ研修となるよう内容を検討し、引き続き保育所等訪問支援に繋げていくようにします。 |
| 3 |   |   |   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------|----------------------|
| 1 |  |                   |                      |
| 2 |  |                   |                      |
| 3 |  |                   |                      |